

聖学院中学校が取り組む英語教育の現状

聖学院中学校では、中学校入学以前に英語学習を経験（海外帰国生を含む）している生徒が増加していることを考慮して、2003年度新入生（中1：179名）から、英語の授業を「経験者クラス〈今年度21名〉」と「一般クラス〈22名～23名×7クラス〉」に分けて4月にスタートいたしました。「経験者クラス」では授業内容をゼロからのスタートではなく、ある程度、英語に慣れ親しんでいるという前提で、英語でのコミュニケーションの量と授業のスピードをアップさせて取り組んでいます。

また「一般クラス」では初めて英語を学習するということから、英語の学習は楽しいものであること、真剣に授業に取り組めば、英語によるコミュニケーションが着実にできるようになることを実感させるように指導しています。一般クラスの生徒たちは、経験者クラスの生徒に刺激を受けながら、ぐんぐん英語の力が伸びている生徒がたくさんいます。けっして一般クラスの生徒が、経験者クラスより劣っているということではありません。

生徒たちは刺激しあい切磋琢磨しながら学習をしています。そして、かなり急激に英語の力を付けていく気配が感じられます。中学3年生の中には、聖学院に入学して初めて英語に接したのにもかかわらず、6月の英語検定試験で2級に合格をした生徒もいます。

今回は、「経験者クラス」にスポットをあて、1学期を終えての感想を担当教員・該当生徒に聞いてみました。

< 担当教員の声 >

「経験者クラス」の生徒は、英語学習にとっても積極的で、いきいきと授業に取り組んでいます。一般クラスに比べて、英語でのコミュニケーションの割合が多いのが特徴です。授業の進度は、一般クラスよりも、教科書の単元で3レッスンほど速く進めていますが、生徒たちはよく勉強し、確実に力を付けてきています。また、週に1回のペースで、ネイティブの先生が、All in English の授業を行っています。自然な形で英語が飛び交い、ハイレベルな授業が展開されています。英語検定試験にも積極的に取り組み、6月に行われた第1回の試験でも、準2級2名、3級2名、4級2名が合格しました。（この他にも、英語検定3・4・5級取得者が10名程度います。）生徒たちの今後の発展が、非常に楽しみです。

（英語科 中学1年担当）

< 経験者クラスの生徒の声 >



僕は、父がアメリカ人なので、家で日本語と英語を聞きながら育ちました。また、アメリカの祖父母の家にも時々行くので、英語でしゃべる機会が多いです。聖学院の「経験者クラス」に入ってから、自分の実力が伸びていると感じています。ついこの間も、アメリカに行ったのですが、普通にコミュニケーションができるようになり、とても楽しかったです。このクラスに入れば、自分の実力の伸びが手にとるようにわかる楽しみがあります。僕は、皆さんにも味わってほしいので、是非聖学院の「経験者クラス」に興味を持ってください。

(ポーシャック 実君 印西市立木刈小学校卒)



僕は、オーストラリアに8年間住み、現地の小学校3年生の時に帰国しました。英語をもっと勉強したいと思い、聖学院に入学しました。英語を話したり、聞いたりするのは苦になりませんが、文法は習った事がなく、一から勉強を始めました。英語の授業は「経験者クラス」に入り、文法にも自信がついてきたところです。また、オーストラリアでは習わなかったような、難しい単語のスペルもジャンジャン書けるようになりました。ネイティブの先生の授業もとても楽しいです。これからも、もっと勉強して特に文法・スペルを上達させたいです。

(酒井 貴史君 世田谷区立経堂小学校卒)



僕は、聖学院小学校の出身で、卒業する時には英検の4級を持っていました。そのおかげで中学に入って、英語が他のクラスよりも速く進む「経験者クラス」に入る事ができました。僕は、他のクラスよりも速く進むのがとてもいいと思います。もちろん、宿題の量なども多いのですが、その分、力がつくのがいいと思います。また、「英検対策」として、生徒が自主的に取り組んだノートを先生が見てくださるというのがあります。このクラスに入れたおかげで、これからも英語の力がグングン伸びそうです。

(吉森 翔平君 私立聖学院小学校卒)